

令和7年度子ども向けアンケートについて

1 背景

- 新潟市子ども条例第16条において、こどもの「参加の機会の確保」のため、「子どもが自由に意見を述べ、参加できる機会及び活動の確保に努める」こととされており、また、こども基本法第11条においても、こどもに関連する施策について、こどもの意見を聴取することが自治体に義務付けられている。
- 新潟市子どもの権利推進計画(R5.4施行～計画期間5年)において、子ども条例の認知度等について指標を設けており、継続的にこどもの意見や考えを把握する必要がある。
- アンケート実施により、こども自身がこどもの権利について考える機会となり、子ども条例の理解促進の一助となる。
- 令和6年8月から運用を開始した子どもの権利相談室「こころのレスキュー隊」についても、認知状況やこどもの意見・考えなどを把握し、今後の運用に活かしていくことを検討する。

2 対象

新潟市内の小学校、中学校に通う小学校5・6年生、中学校2・3年生の児童・生徒。

- 小学校は、5か年で市内全校がアンケートを実施できるよう、各区で2～4校ずつ実施。
- 中学校は、3か年で市内全校実施。その後、新たな中学生による意見交換会の参加校が実施。

区	小学校	中学校
北区	葛塚東小学校、岡方第一小学校 岡方第二小学校	南浜中学校、岡方中学校 早通中学校
東区	東山の下小学校、桃山小学校	大形中学校、藤見中学校 木戸中学校
中央区	鳥屋野小学校、沼垂小学校 山潟小学校、上所小学校	新潟柳都中学校、山潟中学校
江南区	東曾野木小学校、横越小学校	大江山中学校、横越中学校
秋葉区	小合小学校、金津小学校	金津中学校
南区	臼井小学校、大鷲小学校	白南中学校、臼井中学校
西区	真砂小学校、五十嵐小学校 坂井輪小学校、坂井東小学校	坂井輪中学校、黒埼中学校 中野小屋中学校
西蒲区	中之口東小学校、中之口西小学校 越前小学校	西川中学校、潟東中学校

3 実施方法等

- 学校が貸与する生徒のタブレット端末を活用したアンケート調査を実施する。
- 収集したデータはこども政策課にて集計・とりまとめを行う。
- 集計結果は、教育委員会事務局を通じ、各校に共有するとともに、子どもの権利推進委員会に報告する。

4 実施時期

令和7年10月初旬(タイミングは各校による) ～ 10月23日(木)

5 回答状況

有効回答数:3,948件

(対象児童数:5,957人 回答率:66.3%)

6 回答状況

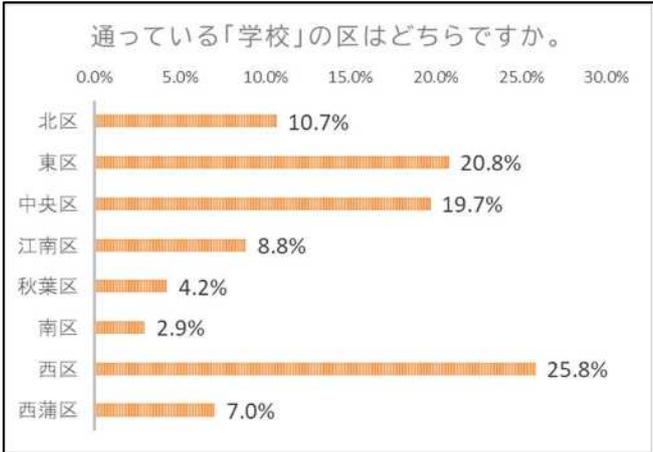
資料1-3のとおり

令和7年度新潟市子ども条例 こども向けアンケート集計

回答期間：令和7年10月初旬～10月23日
 回答数：3,948件

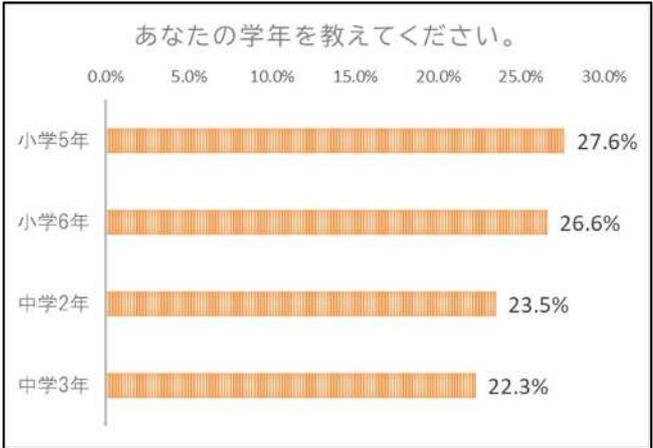
Q1.通っている「学校」の区はどちらですか。

選択肢	割合	件数
北区	10.7%	421
東区	20.8%	820
中央区	19.7%	777
江南区	8.8%	349
秋葉区	4.2%	167
南区	2.9%	116
西区	25.8%	1,020
西蒲区	7.0%	278
	100.0%	3,948



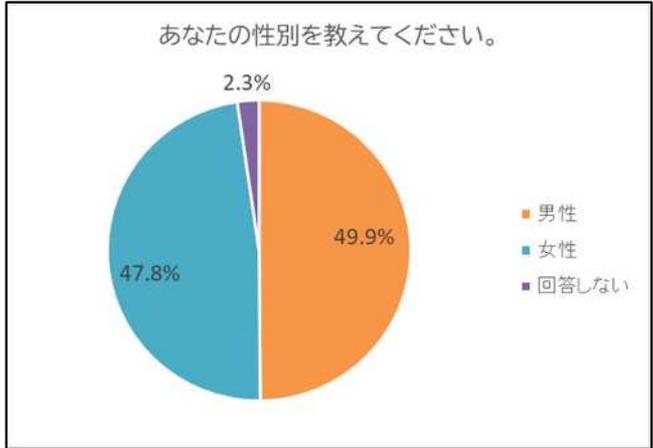
Q2.あなたの学年を教えてください。

選択肢	割合	件数
小学5年	27.6%	1,090
小学6年	26.6%	1,050
中学2年	23.5%	928
中学3年	22.3%	880
高校1年	0.0%	0
高校2年	0.0%	0
	100.0%	3,948



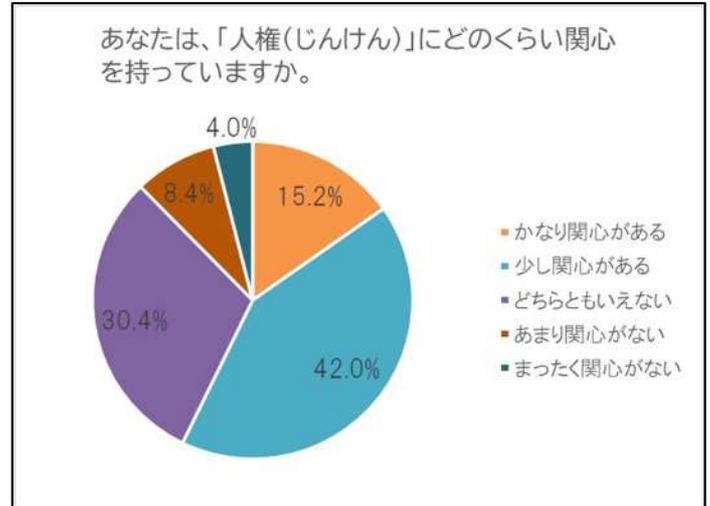
Q3.あなたの性別を教えてください。

選択肢	割合	件数
男性	49.9%	1,969
女性	47.8%	1,888
回答しない	2.3%	91
	100.0%	3,948



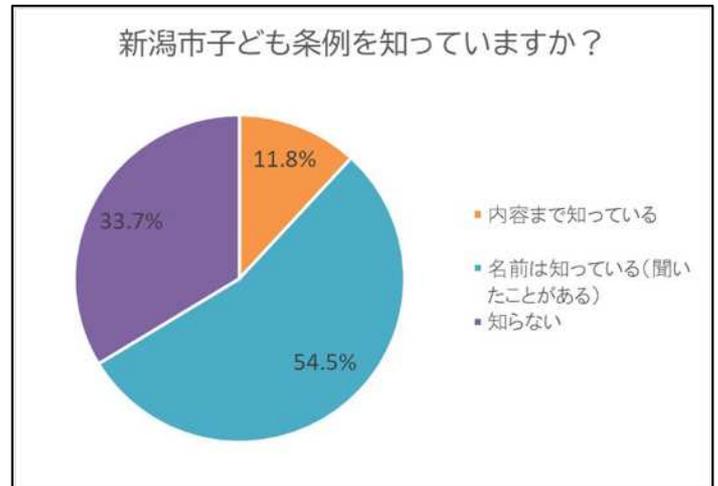
Q4.あなたは、「人権(じんけん)」にどのくらい関心を持っていますか。

選択肢	割合	件数
かなり関心がある	15.2%	601
少し関心がある	42.0%	1,658
どちらともいえない	30.4%	1,202
あまり関心がない	8.4%	331
まったく関心がない	4.0%	156
	100.0%	3,948



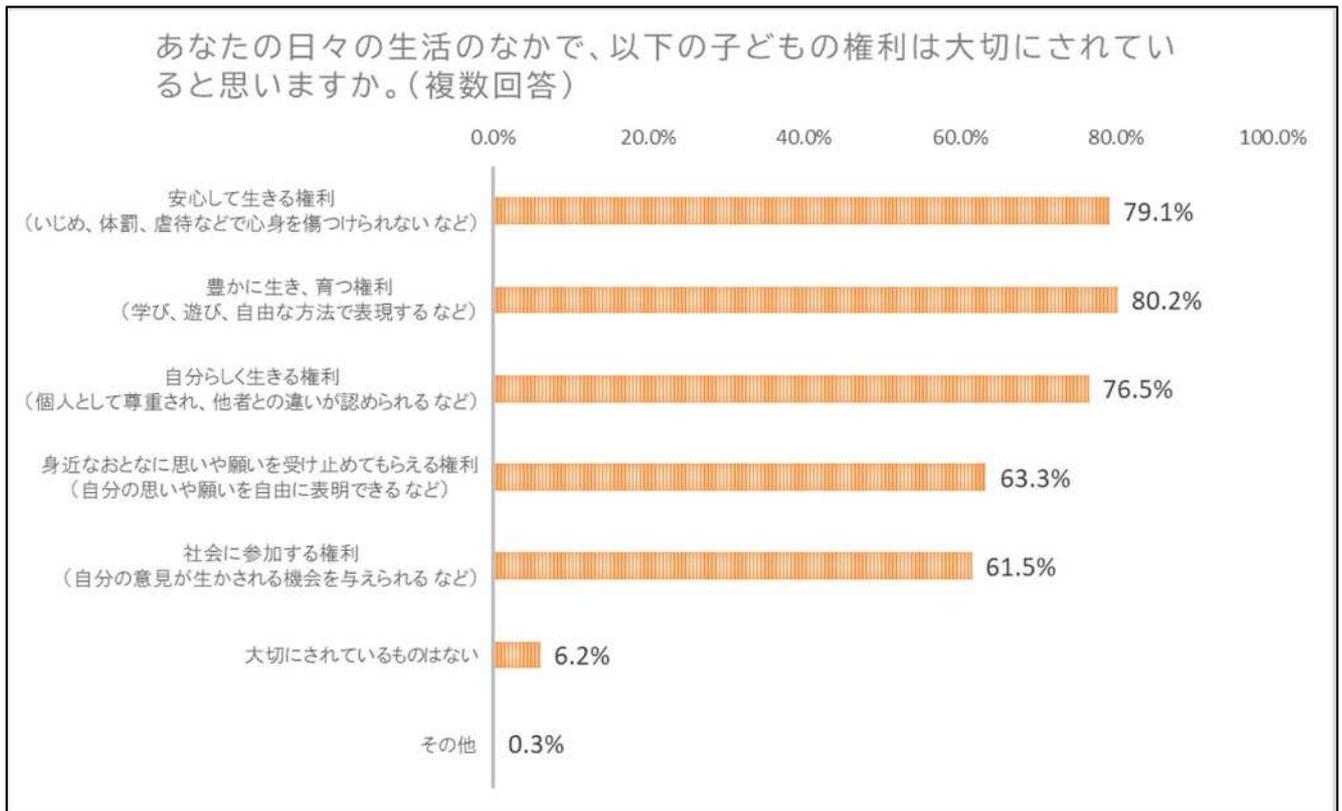
Q5.新潟市子ども条例を知っていますか。

選択肢	割合	件数
内容まで知っている	11.8%	467
名前は知っている(聞いたことがある)	54.5%	2,150
知らない	33.7%	1,331
	100.0%	3,948



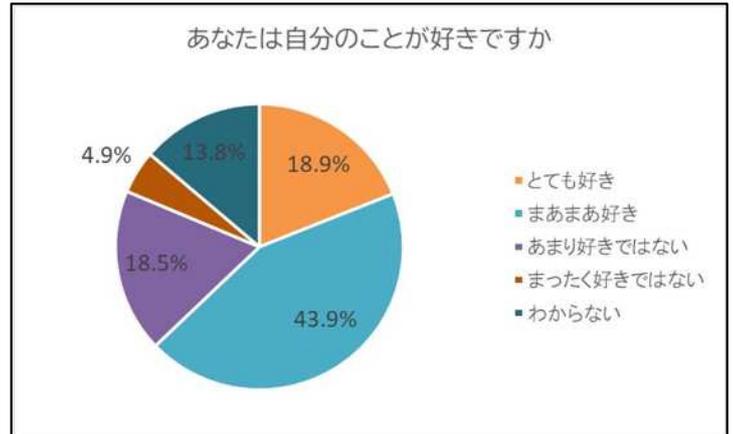
Q6.あなたの日々の生活のなかで、以下の子どもの権利は大切にされていると思いますか。
(複数回答)

選択肢	割合	件数
安心して生きる権利 (いじめ、体罰、虐待などで心身を傷つけられない など)	79.1%	3,123
豊かに生き、育つ権利 (学び、遊び、自由な方法で表現する など)	80.2%	3,167
自分らしく生きる権利 (個人として尊重され、他者との違いが認められる など)	76.5%	3,020
身近なおとなに思いや願いを受け止めてもらえる権利 (自分の思いや願いを自由に表明できる など)	63.3%	2,499
社会に参加する権利 (自分の意見が活かされる機会を与えられる など)	61.5%	2,429
大切にされているものはない	6.2%	243
その他 (内容:わからない、よくわからない)	0.3%	10
		14,491



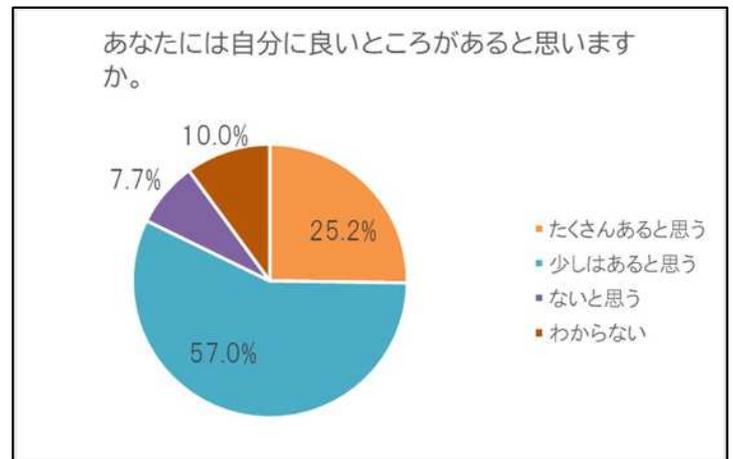
Q7.あなたは自分のことが好きですか。

選択肢	割合	件数
とても好き	18.9%	748
まあまあ好き	43.9%	1,733
あまり好きではない	18.5%	731
まったく好きではない	4.9%	193
わからない	13.8%	543
	100.0%	3,948



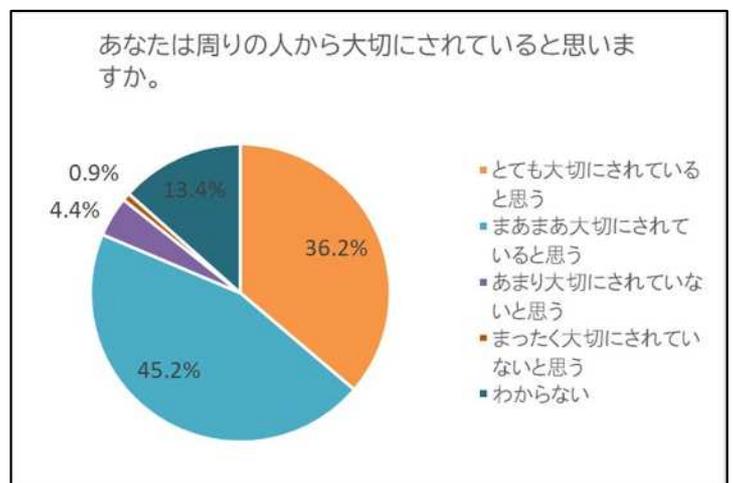
Q8.あなたには自分に良いところがあると思いますか。

選択肢	割合	件数
たくさんあると思う	25.2%	996
少しはあると思う	57.0%	2,252
ないと思う	7.7%	304
わからない	10.0%	396
	100.0%	3,948



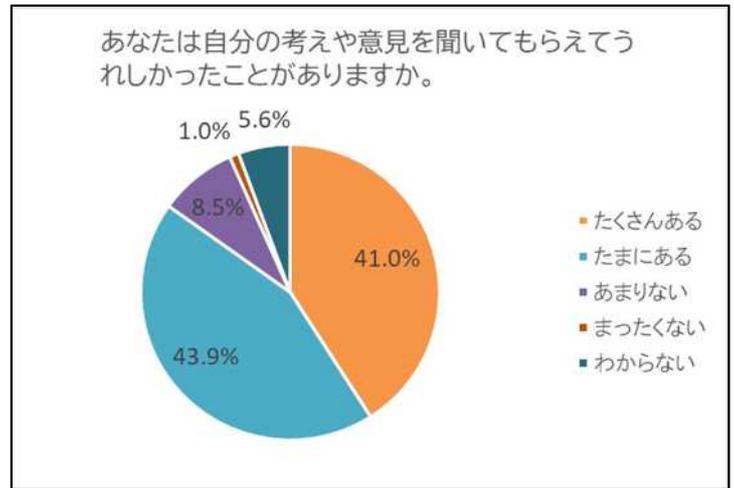
Q9.あなたは周りの人から大切にされていると思いますか。

選択肢	割合	件数
とても大切にされていると思う	36.2%	1,431
まあまあ大切にされていると思う	45.2%	1,783
あまり大切にされていないと思う	4.4%	172
まったく大切にされていないと思う	0.9%	34
わからない	13.4%	528
	100.0%	3,948



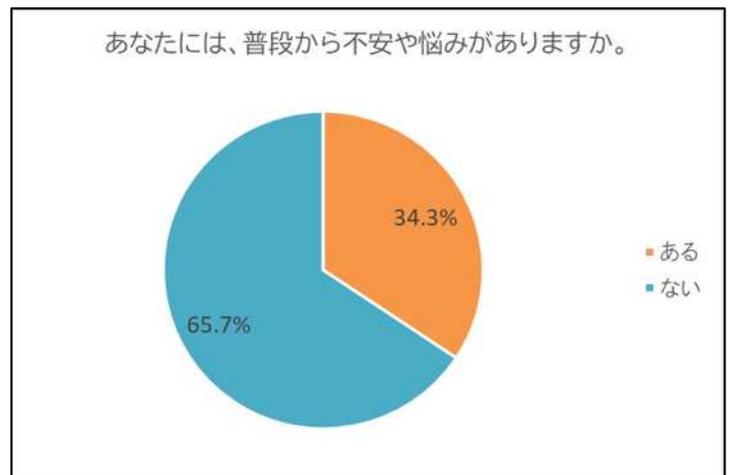
Q10.あなたは自分の考えや意見を聞いてもらえてうれしかったことがありますか。

選択肢	割合	件数
たくさんある	41.0%	1,617
たまにある	43.9%	1,734
あまりない	8.5%	335
まったくない	1.0%	40
わからない	5.6%	222
	100.0%	3,948



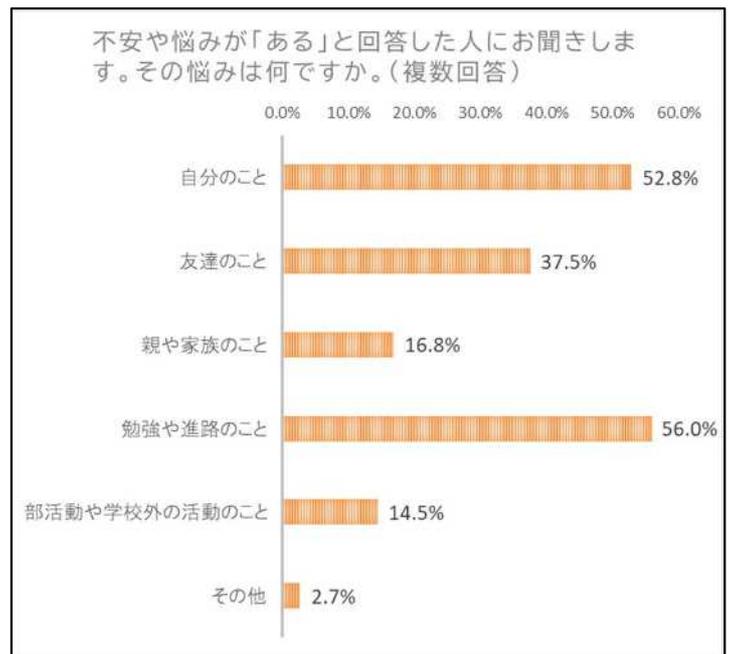
Q11.あなたには、普段から不安や悩みがありますか。

選択肢	割合	件数
ある	34.3%	1,356
ない	65.7%	2,592
	100.0%	3,948



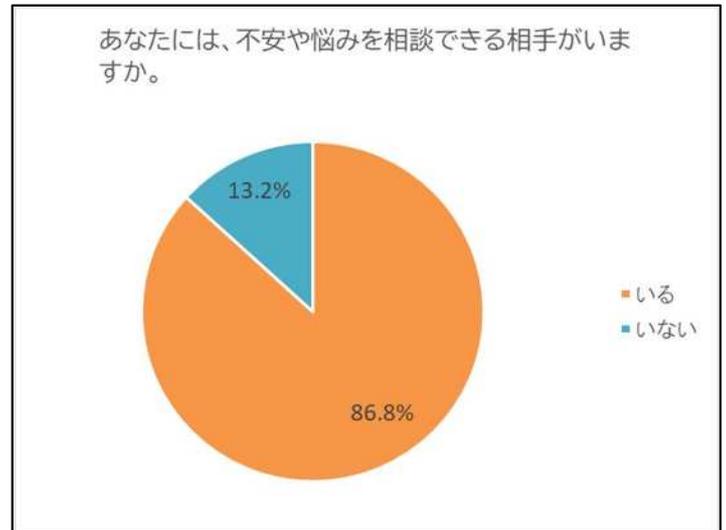
Q12.不安や悩みが「ある」と回答した人にお聞きします。その悩みは何ですか。(複数回答)

選択肢	割合	件数
自分のこと	52.8%	716
友達のこと	37.5%	508
親や家族のこと	16.8%	228
勉強や進路のこと	56.0%	759
部活動や学校外の活動のこと	14.5%	196
その他 (内容:学校の課題提出、学校の委員会のこと、習い事であまり人と喋ったりすることができない、災害とかが起きたらどうしようって言うこと、ゲームがクリアできない、勉強と部活動の両立 など)	2.7%	36
		2,443



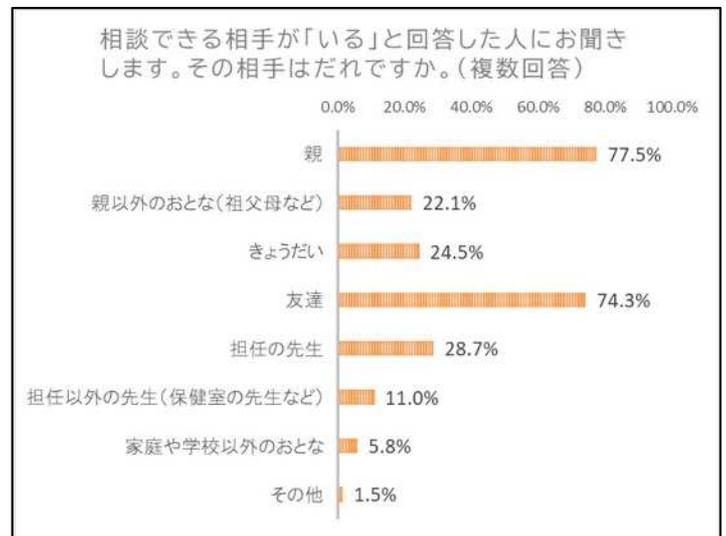
Q13.あなたには、不安や悩みを相談できる相手がありますか。

選択肢	割合	件数
いる	86.8%	3,425
いない	13.2%	523
	100.0%	3,948



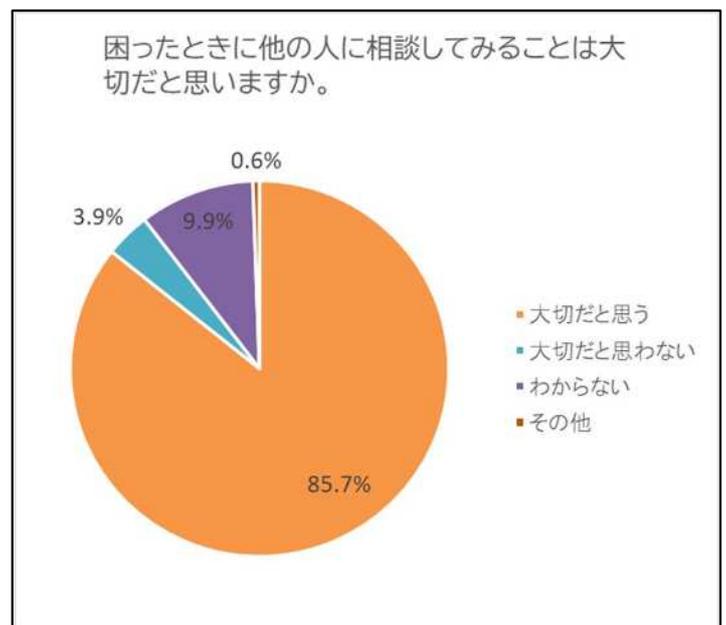
Q14.相談できる相手が「いる」と回答した人にお聞きします。その相手はだれですか。(複数回答)

選択肢	割合	件数
親	77.5%	2,655
親以外のおとな(祖父母など)	22.1%	757
きょうだい	24.5%	838
友達	74.3%	2,544
担任の先生	28.7%	984
担任以外の先生(保健室の先生など)	11.0%	377
家庭や学校以外のおとな	5.8%	199
その他 (内容:親友、カウンセラー、いとこ、習い事の先生、ChatGPT、AI、監督やコーチ、ネットの友達、相談室にいる人 など)	1.5%	50
		8,404



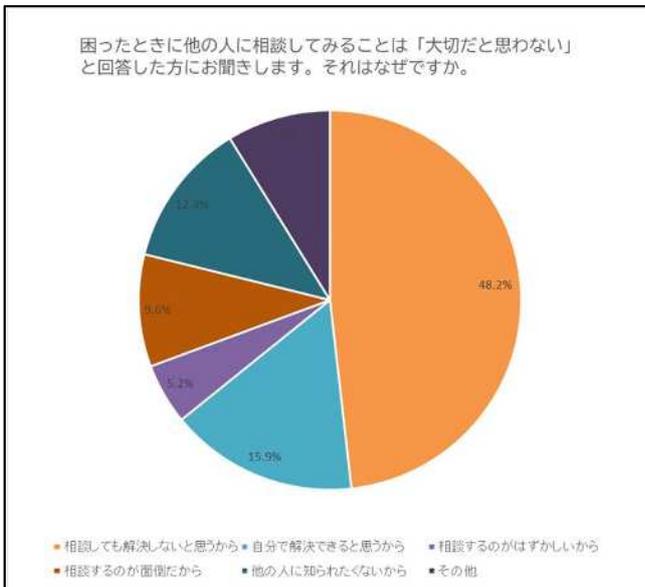
Q15.困ったときに他の人に相談してみることは大切だと思いますか。

選択肢	割合	件数
大切だと思う	85.7%	3,384
大切だと思わない	3.9%	153
わからない	9.9%	389
その他 (内容:大切だと思うけど相談するのは恥ずかしい、相談すべきか相談しない方がいいかをよく考えるべき、時と場合による、内容による など)	0.6%	22
	100.0%	3,948



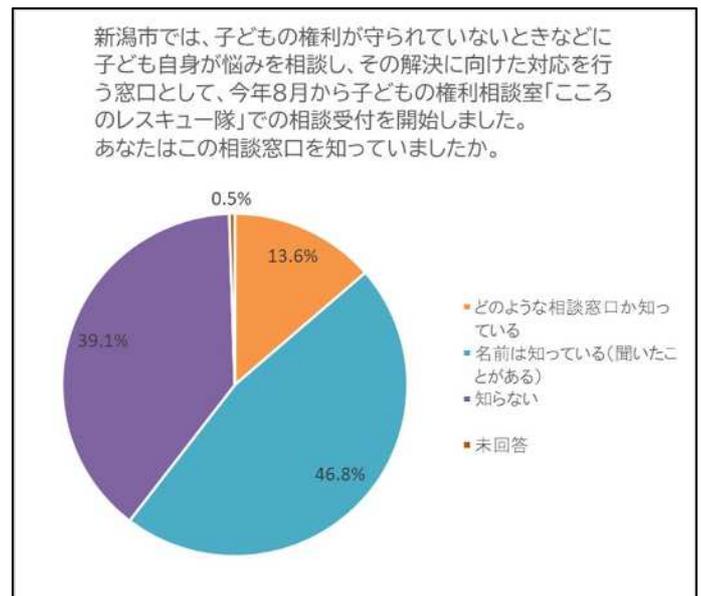
Q16.困ったときに他の人に相談してみることは「大切だと思わない」と回答した方にお聞きします。それはなぜですか。

選択肢	割合	件数
相談しても解決しないと思うから	48.2%	121
自分で解決できると思うから	15.9%	40
相談するのがはずかしいから	5.2%	13
相談するのが面倒だから	9.6%	24
他の人に知られたくないから	12.4%	31
その他 (内容:その人が広めてしまうかもしれないから、話しても誰も理解してくれないから、相談しても解決なんてしないから、自分で解決する力をつけるため など)	8.8%	22
	100.0%	251



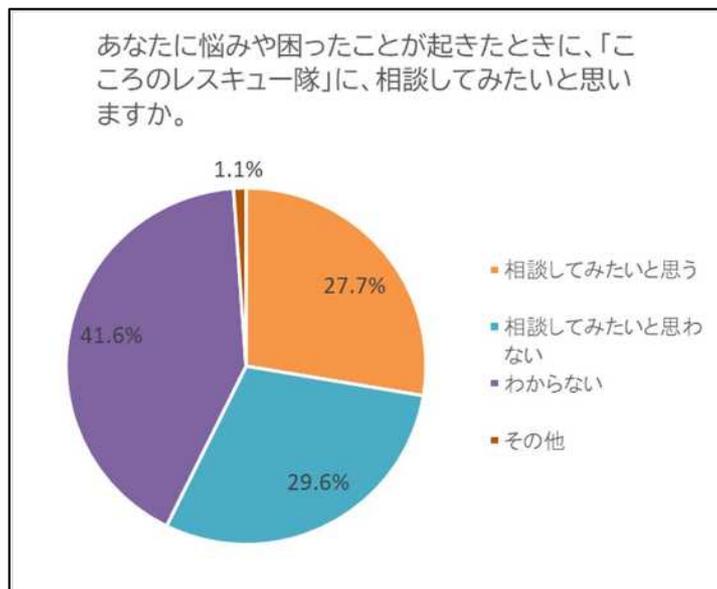
Q17.新潟市では、子どもの権利が守られていないときなどに子ども自身が悩みを相談し、その解決に向けた対応を行う窓口として、今年8月から子どもの権利相談室「こころのレスキュー隊」での相談受付を開始しました。あなたはこの相談窓口を知っていましたか。

選択肢	割合	件数
どのような相談窓口か知っている	13.6%	538
名前は知っている(聞いたことがある)	46.8%	1,848
知らない	39.1%	1,542
未回答	0.5%	20
	100.0%	3,948



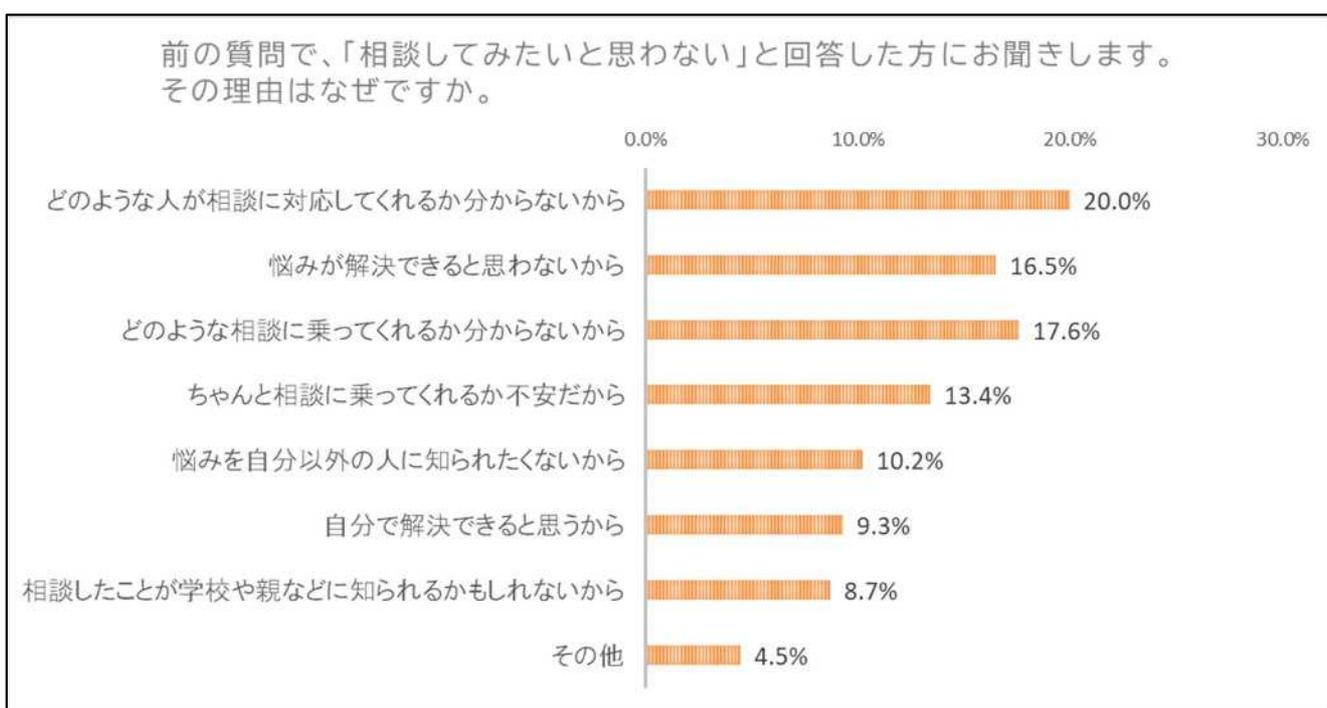
Q18.あなたに悩みや困ったことが起きたときに、「こころのレスキュー隊」に、相談してみたいと思いますか。

選択肢	割合	件数
相談してみたいと思う	27.7%	1,092
相談してみたいと思わない	29.6%	1,170
わからない	41.6%	1,642
その他 (内容: どういう時に相談するのか分からない、悩み事の大きさによっては相談したいと思う、相談するほどのやつか悩んでできないかも、家族に相談できなかったら相談してみたいと思うなど)	1.1%	44
	100.0%	3,948



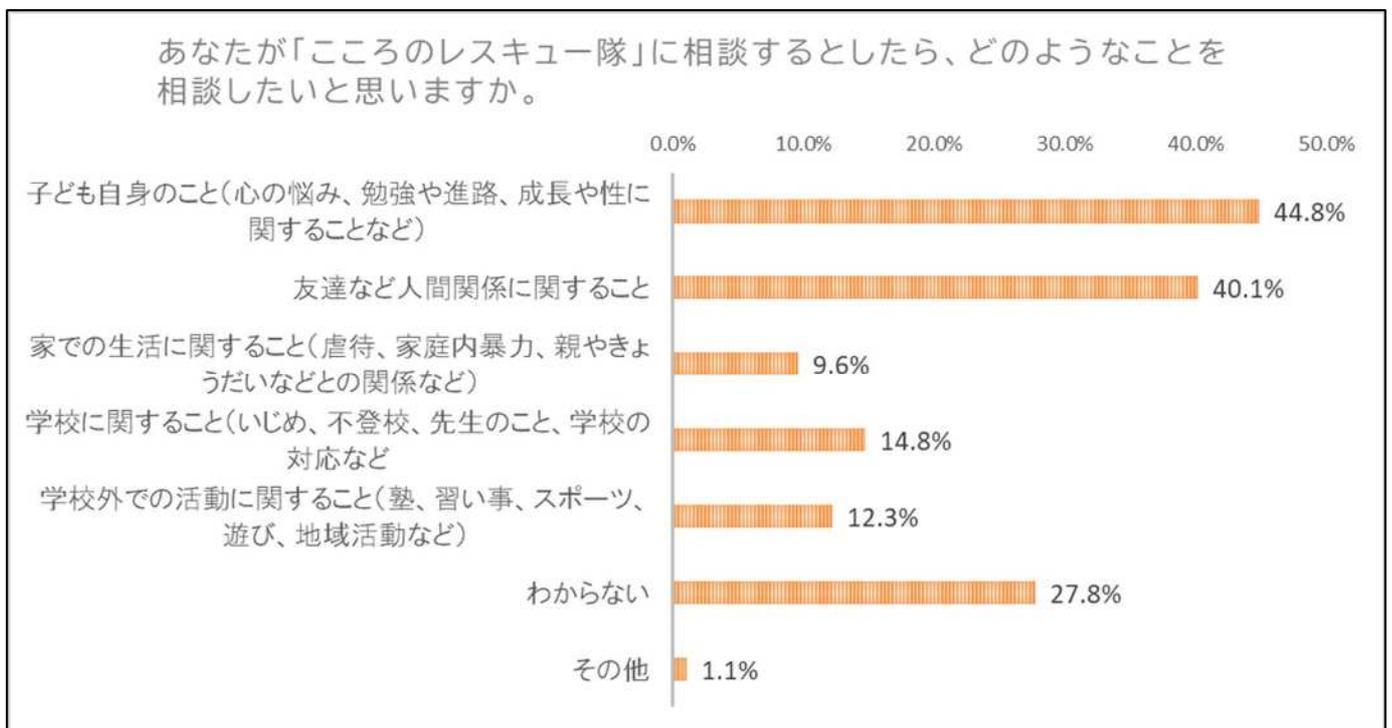
Q19.前の質問で、「相談してみたいと思わない」と回答した方にお聞きします。その理由はなぜですか。

選択肢	割合	件数
どのような人が相談に対応してくれるか分からないから	20.0%	788
悩みが解決できると思わないから	16.5%	652
どのような相談に乗ってくれるか分からないから	17.6%	694
ちゃんと相談に乗ってくれるか不安だから	13.4%	530
悩みを自分以外の人に知られたくないから	10.2%	403
自分で解決できると思うから	9.3%	368
相談したことが学校や親などに知られるかもしれないから	8.7%	343
その他 (内容: めんどくさい、知らない人に話したくない、身近な人の方が話しやすいから、他に相談する人がいる、親や友達に相談できるから、 など)	4.5%	176
		3,954



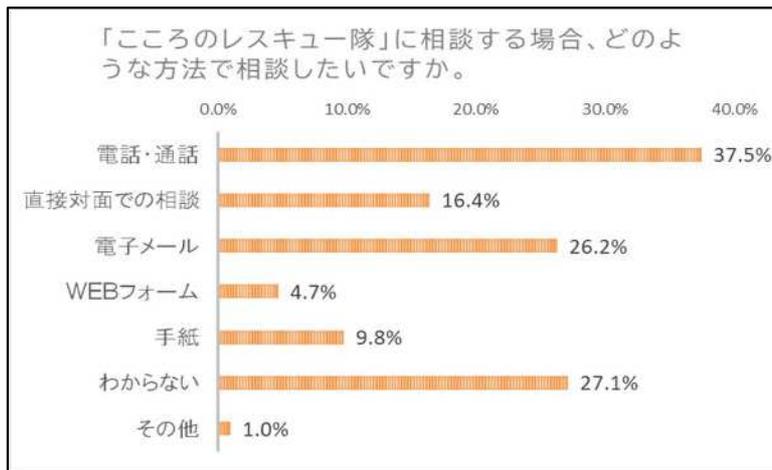
Q20.あなたが「こころのレスキュー隊」に相談するとしたら、どのようなことを相談したいと思いますか。

選択肢	割合	件数
子ども自身のこと(心の悩み、勉強や進路、成長や性に関する ことなど)	44.8%	1,770
友達など人間関係に関すること	40.1%	1,585
家での生活に関すること(虐待、家庭内暴力、親やきょうだいな どとの関係など)	9.6%	380
学校に関すること(いじめ、不登校、先生のこと、学校の対応な ど)	14.8%	584
学校外での活動に関すること(塾、習い事、スポーツ、遊び、地 域活動など)	12.3%	484
わからない	27.8%	1,097
その他 (内容:相談しない、親との関係、きょうだいのこと、勉強のこと、 勉強と部活の両立のこと、将来のこと、 など)	1.1%	45
		5,945



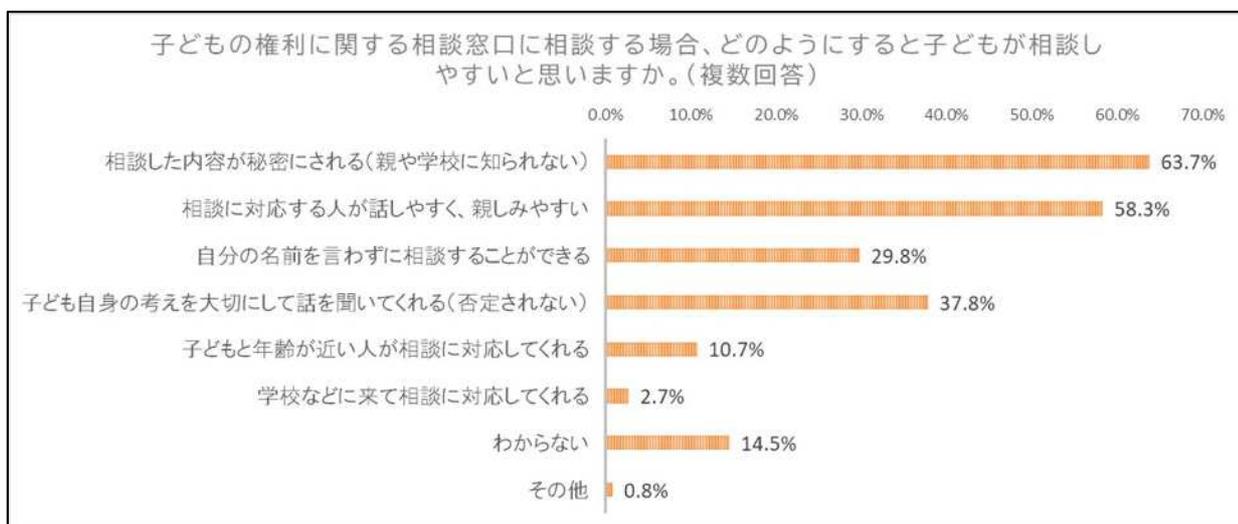
Q21.「こころのレスキュー隊」に相談する場合、どのような方法で相談したいですか。

選択肢	割合	件数
電話・通話	37.5%	1,479
直接対面での相談	16.4%	647
電子メール	26.2%	1,036
WEBフォーム	4.7%	186
手紙	9.8%	387
わからない	27.1%	1,071
その他 (内容:しない、LINE、FAX、ビデオ通話、家族にばれづらい方法 など)	1.0%	39
		4,845



Q22.「こころのレスキュー隊」に相談する場合、どのようにすると子どもが相談しやすいと思いますか。(複数回答)

選択肢	割合	件数
相談した内容が秘密にされる(親や学校に知られない)	63.7%	2,516
相談に対応する人が話しやすく、親しみやすい	58.3%	2,300
自分の名前を言わずに相談することができる	29.8%	1,177
子ども自身の考えを大切に話を聞いてくれる(否定されない)	37.8%	1,491
子どもと年齢が近い人が相談に対応してくれる	10.7%	424
学校などに来て相談に対応してくれる	2.7%	105
わからない	14.5%	571
その他 (内容:友達と喋っている感覚で、子供自身の考えは尊重してほしいが子供の考えが完全に否定されないのは良くないと思う。ダメだとだと思ふ考えは否定してほしい、 など)	0.8%	32
		8,616



Q23.「こころのレスキュー隊」を運営(うんえい)するときに、新潟市に気を付けてほしいことや期待することがあれば、自由に書いてください。(自由意見)

回答(抜粋)

親管理のスマートフォンだと、親が見たりするので相談しにくい子供がいると思います。私のスマートフォンは、電話ができないので相談することができません。なので、機器などを使わない方法がもうちょっと欲しいなと思います。手紙だと、知られたくないけど内容が知られてしまうかもしれないし、スマートフォンがない人は相談できないと思います。そういう人たちはどうするのかな。と思うので、ぜひ、選択肢を増やしてあげて欲しいです。

悩みを解決まで寄り添ってくれると約束できたら安心する

問題を解決できなくても、相談した人の心を軽くしてくれるといい

どんな相談でも馬鹿にしないでほしい。子供のことを尊重してほしい。

子供が緊張せずに話せるような対応してほしい。

否定しないのも大切だと思いますが、悩んでいる人は何が正しくて何が正しくないか分からない時があると思うので客観的に見た意見も言ってもらえると助かると思います。

悩みの解決策を無理に押し付けずに、しっかりと悩みを聞くといいと思います。

大変だったね。怖かったね。と言う言葉はただただ聞いているだけに聞こえるから控えめに欲しいのと、本人が言うまで掘り下げないことに気をつけて欲しいです。

相談は聞いてもらえるだけで少しは楽になれるから、とりあえず全て聞いて、それに対して肯定が多いとありがたいと思う。

相手の気持ちをしっかり理解し相談してくれるのを期待します。

秘密厳守と親しみがあって気軽に相談ができるようなことを期待します

きっとどこかで親に知られてしまうかもしれないけどここに頼れば大丈夫と思って相談しているので本人が同意するまで本当に安心できる対応してほしい

個人情報の流出には気をつけてほしい。相談することで、少しでも多くの人が身体的にも精神的にも健康に暮らすことができるようになること。

子供の考えを否定せず、話しやすい環境を作ること

相子供の心に寄り添えるように、親切かつ丁寧に対応すれば、子供も心を開けると思う。

回答(抜粋)

子供の意見を尊重して話を聞いてほしい 個人情報をしっかり守ってほしい(親や学校に知らせない)

最後まで話を聞いてしっかりと自分が思っていることを理解してもらえるのを期待しています。

無意識やわざとでなくても相談に来た子供をさらに困らせたりしないようにしてほしい。

学校の先生のように一般的に正しいとされている回答ではなく、一個人の考えから相談に乗ってほしい。

相談内容等は必ず外部に漏らさないこと、また何らかの策を取る場合にも相談対象者を悟られにくくするなど、基本的に普段の生活と変わらないように情報取り扱いや生徒自身に対してより一層親しみやすくすべき

相談してきた子どもがもし黙り込んでしまったら、そっとやさしい声をかけてあげてほしい

できるだけ親がいない時がいいから、自分で時間を指定できるようにしたい。

相談する人は、初めての人が多いと思うから声がけなどを意識して欲しい。

実際に相談する事が難しい場合もあるから、簡単で身近に相談できるようなものだと良いと思う

秘密厳守と親しみがあって気軽に相談ができるようなことを期待します。

相談や話すことによって余計に子供の心が傷ついたりするなど、そういった事はないように気をつけてほしいです

とにかく子供はデリケートだから慎重に自然に話を深掘りする法則を使って話すといいと思う。心のレスキュー隊の人達が過去経験した嫌なことなども言ったりするといいと思う

きっとどこかで親に知られてしまうかもしれないけどここに頼れば大丈夫と思って相談しているので本人が同意するまで本当に安心できる対応してほしい

少しでも心が傷つくと子供は大変なのでゆっくりやめなくなったら辞めてもいいとか落ち着かせてから、安心できる様な環境を作り、話を聞いた方がいいと思う。後変に丁寧すぎても、共感しすぎてもダメ

親や学校に知られるのが嫌だから相談しに行ってるのに、それでも親や学校に言われたらもう何もかも信用できなくなると思うから、そこは注意して欲しい。

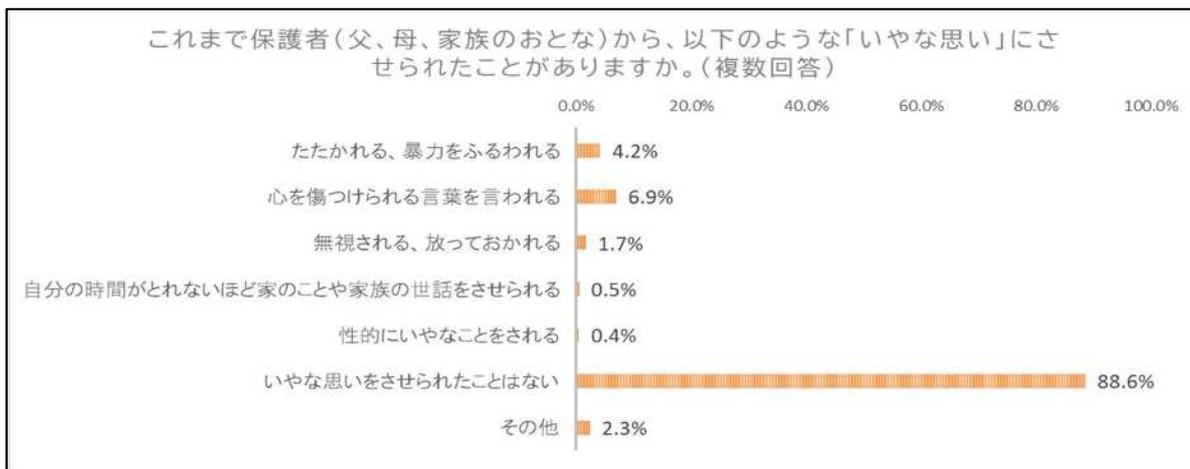
スマホを持っていない子は相談できないので、全ての学校用iPadで相談できるようにしてほしい。やり方をもう少しわかりやすくしてほしい。内容を秘密にしてほしい。

無理に解決しようとしなくて良い、余計に辛くなる場合があるから。とにかく話を聞いてあげてください。

なんでも相談でき、新潟市の子供があんしんできるものにしてほしいです。

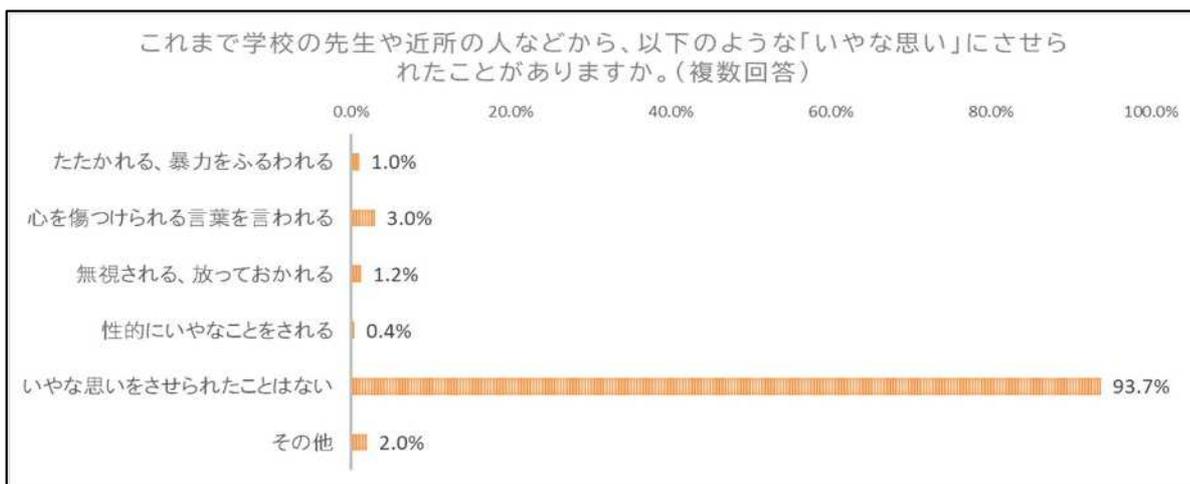
Q24.これまで保護者(父、母、家族のおとな)から、以下のような「いやな思い」にさせられたことがありますか。(複数回答)

選択肢	割合	件数
たたかれる、暴力をふるわれる	4.2%	164
心を傷つけられる言葉を言われる	6.9%	274
無視される、放っておかれる	1.7%	68
自分の時間がとれないほど家のことや家族の世話をさせられる	0.5%	21
性的にいやなことをされる	0.4%	17
いやな思いをさせられたことはない	88.6%	3,496
その他 (内容:喧嘩を何時間も目の前でされる、暴言を言うことについて「自分の性格だからしょうがない」と言って変えてくれない、悩みを言っても「お前が悪い」だけ、勉強しろとうるさい、兄弟と差別される、行きたくない習い事に行かされて楽しかった習い事をやめさせられた など)	2.3%	92
		4,132



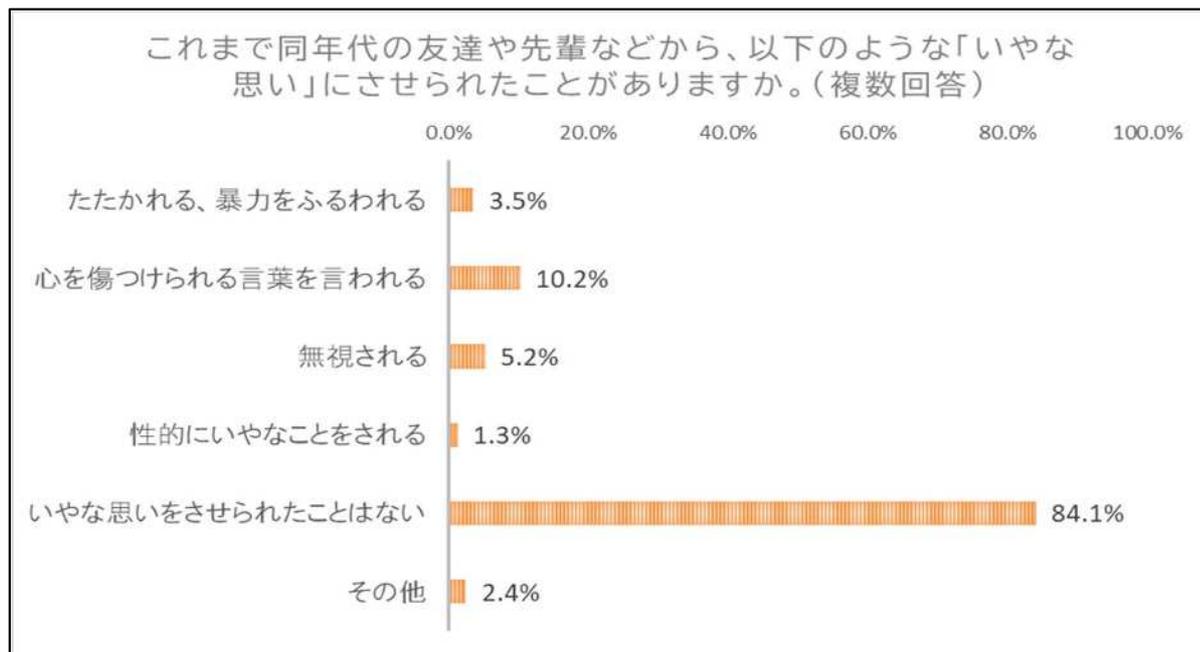
Q25.これまで学校の先生や近所の人などから、以下のような「いやな思い」にさせられたことがありますか。(複数回答)

選択肢	割合	件数
たたかれる、暴力をふるわれる	1.0%	40
心を傷つけられる言葉を言われる	3.0%	118
無視される、放っておかれる	1.2%	49
性的にいやなことをされる	0.4%	17
いやな思いをさせられたことはない	93.7%	3,700
その他 (内容:理不尽なことでおこられる、体調悪かったのに部活やられた、先生に説明してるのに先生が考えを変えないで謎に無駄に怒られる、友達が自分勝手なとき、先生に男女差別をされる時がある、ひどい言葉を言われる、 など)	2.0%	80
		4,004



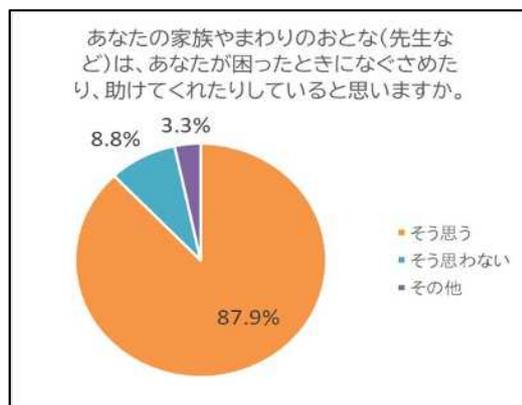
Q26.これまで同年代の友達や先輩などから、以下のような「いやな思い」にさせられたことがありますか。(複数回答)

選択肢	割合	件数
たたかれる、暴力をふるわれる	3.5%	139
心を傷つけられる言葉を言われる	10.2%	403
無視される	5.2%	207
性的にいやなことをされる	1.3%	50
いやな思いをさせられたことはない	84.1%	3,321
その他 (内容:いじめられる、物を壊される、自分の陰口を言われたりヒソヒソ話をされたりする、先輩からからまれたりする、他の人と態度が違う、あいさつ無視されたことはある など)	2.4%	96
		4,216



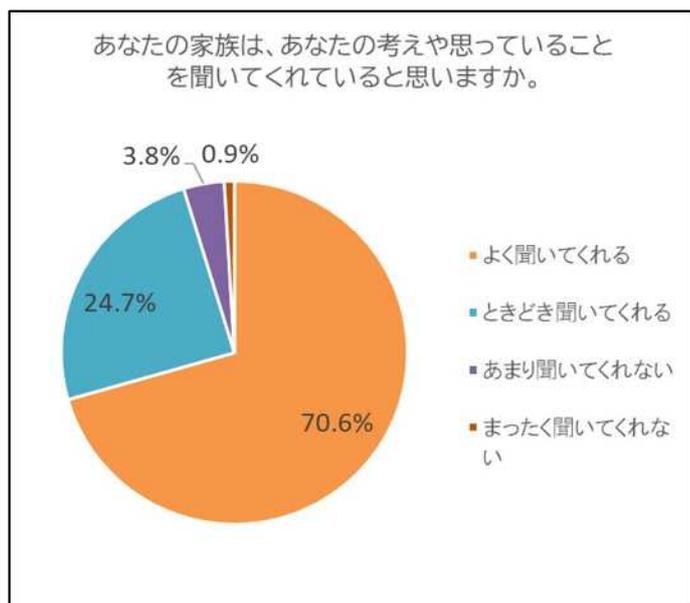
Q27.あなたの家族やまわりのおとな(先生など)は、あなたが困ったときになぐさめたり、助けてくれたりしていると思いますか。

選択肢	割合	件数
そう思う	87.9%	3,470
そう思わない	8.8%	346
その他 (内容:あまり困ったことを相談をしないため、場合による、内容によると思う、家族は聞いてくれるけど他の人にはちゃんとときいてくれることを期待していない、先生は人によるが親友と家族は助けてくれる、先生は慰めてくれると思うが、家族は慰めてくれないと思う など)	3.3%	132
	100.0%	3,948



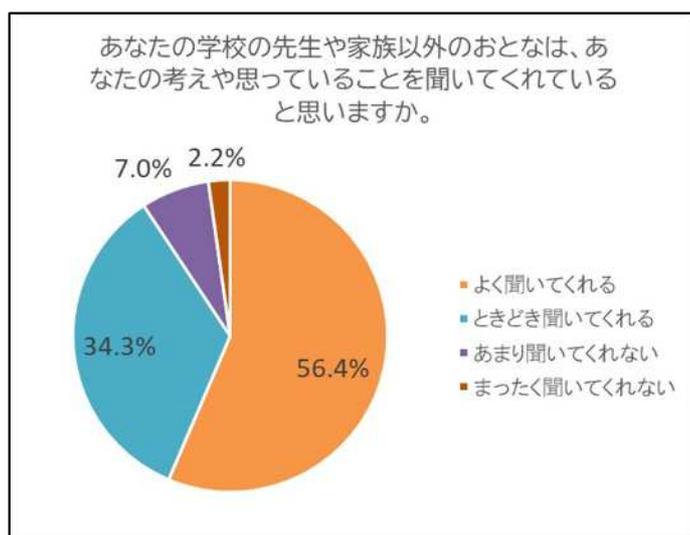
Q28.あなたの家族は、あなたの考えや思っていることを聞いてくれていると思いますか。

選択肢	割合	件数
よく聞いてくれる	70.6%	2,787
ときどき聞いてくれる	24.7%	974
あまり聞いてくれない	3.8%	150
まったく聞いてくれない	0.9%	37
	100.0%	3,948



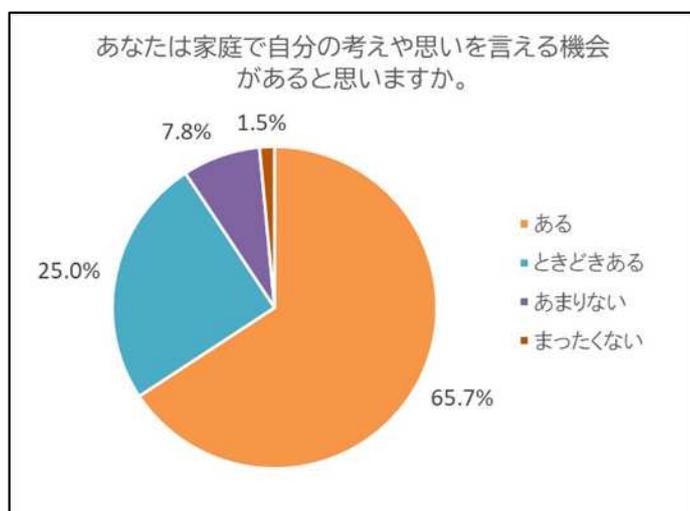
Q29.あなたの学校の先生や家族以外のおとなは、あなたの考えや思っていることを聞いてくれていると思いますか。

選択肢	割合	件数
よく聞いてくれる	56.4%	2,227
ときどき聞いてくれる	34.3%	1,355
あまり聞いてくれない	7.0%	278
まったく聞いてくれない	2.2%	88
	100.0%	3,948



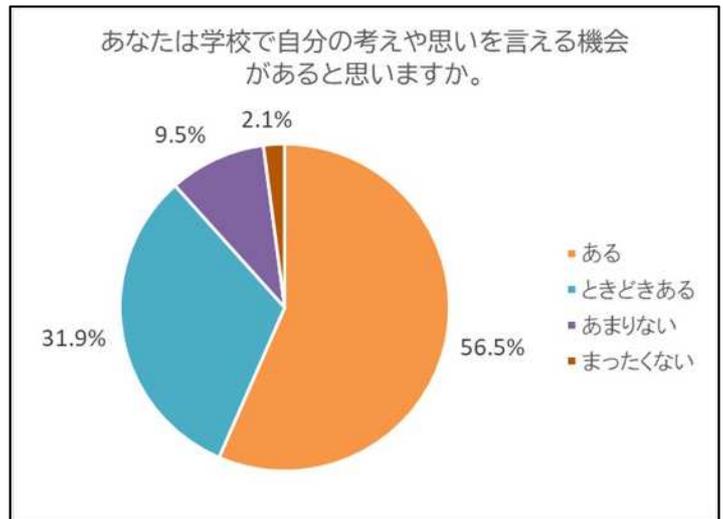
Q30.あなたは家庭で自分の考えや思いを言える機会があると思いますか。

選択肢	割合	件数
ある	65.7%	2,595
ときどきある	25.0%	987
あまりない	7.8%	307
まったくない	1.5%	59
	100.0%	3,948



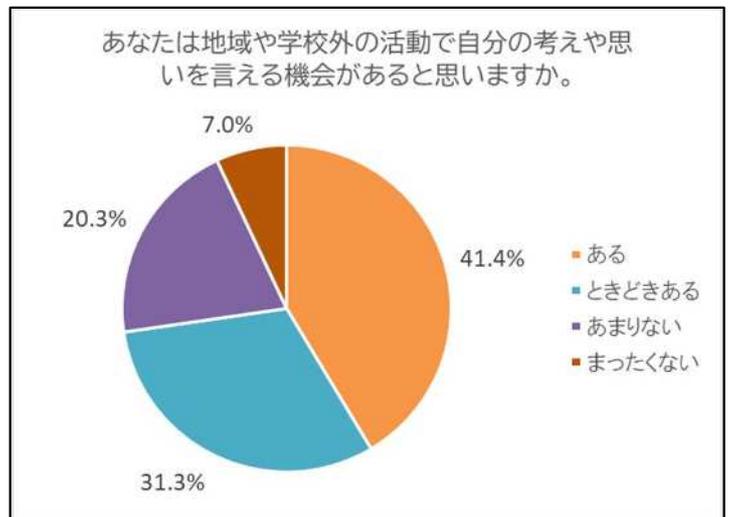
Q31.あなたは学校で自分の考えや思いを言える機会があると思いますか。

選択肢	割合	件数
ある	56.5%	2,232
ときどきある	31.9%	1,258
あまりない	9.5%	376
まったくない	2.1%	82
	100.0%	3,948



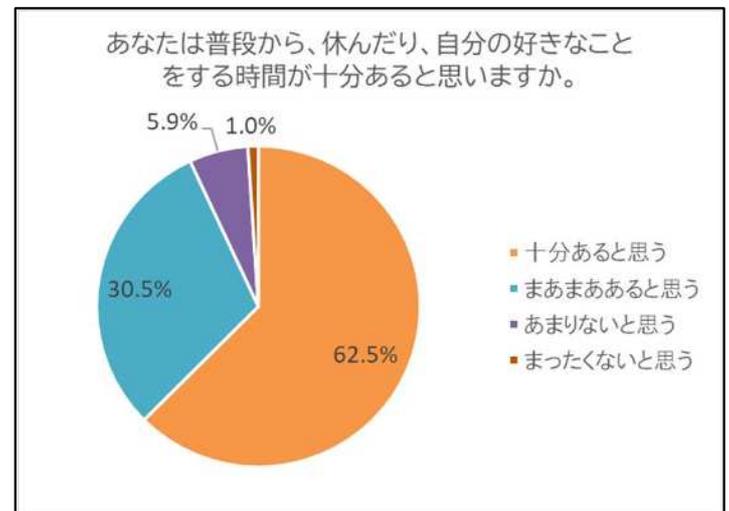
Q32.あなたは地域や学校外の活動で自分の考えや思いを言える機会があると思いますか。

選択肢	割合	件数
ある	41.4%	1,635
ときどきある	31.3%	1,235
あまりない	20.3%	803
まったくない	7.0%	275
	100.0%	3,948



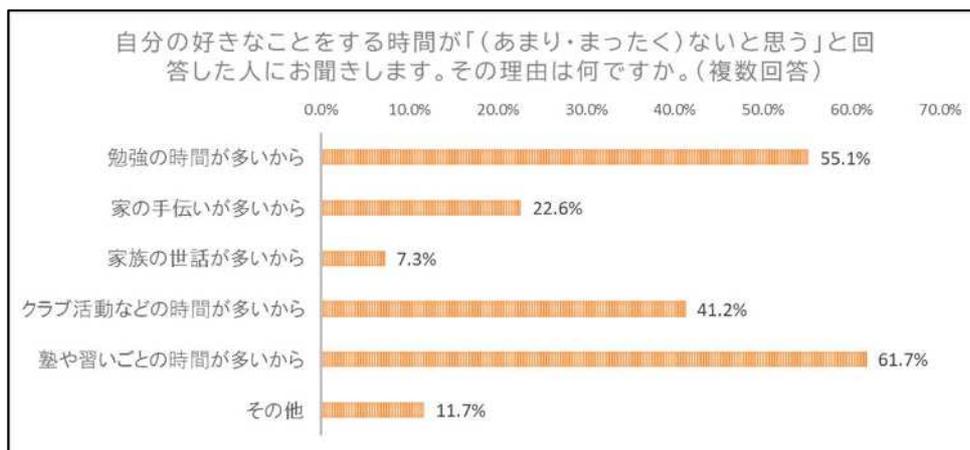
Q33.あなたは普段から、休んだり、自分の好きなことをする時間が十分あると思いますか。

選択肢	割合	件数
十分あると思う	62.5%	2,468
まあまああると思う	30.5%	1,206
あまりないと思う	5.9%	233
まったくないと思う	1.0%	41
	100.0%	3,948



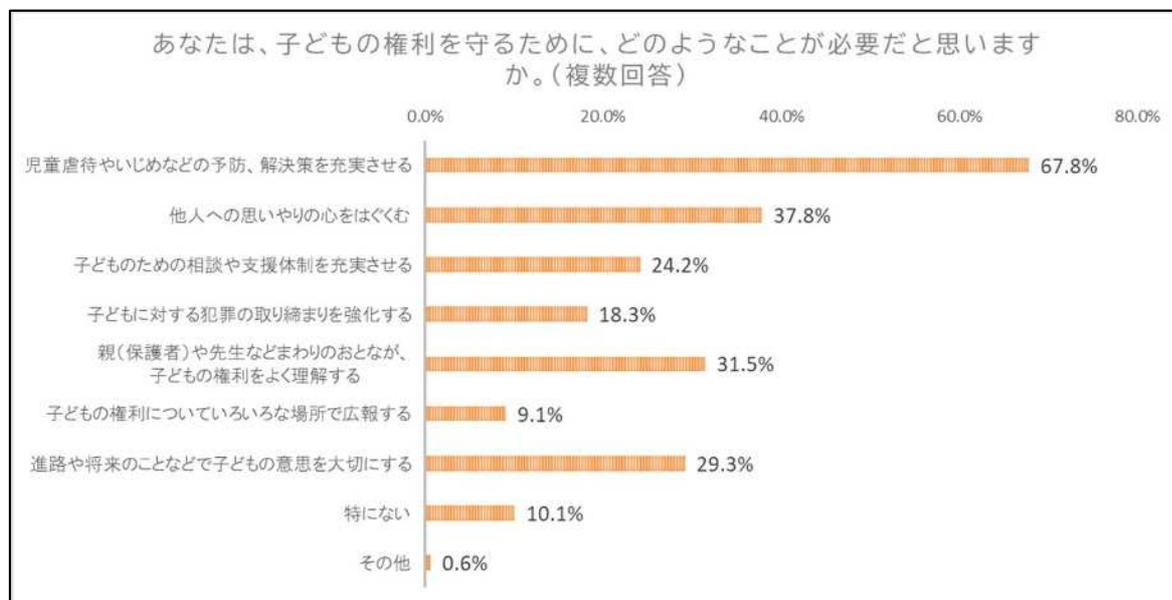
Q34.自分の好きなことをする時間が「(あまり・まったく)ないと思う」と回答した人にお聞きします。その理由は何ですか。(複数回答)

選択肢	割合	件数
勉強の時間が多いから	55.1%	151
家の手伝いが多いから	22.6%	62
家族の世話が多いから	7.3%	20
クラブ活動などの時間が多いから	41.2%	113
塾や習いごとの時間が多いから	61.7%	169
その他 (内容:学校の時間が長すぎるから、友達に無理やり遊ばせようと言われることがあるから、メディアをついやりすぎてしまう、好きなことをすると言われるから、それが普通だから など)	11.7%	32
		547



Q35.あなたは、子どもの権利を守るために、どのようなことが必要だと思いますか。(複数回答)

選択肢	割合	件数
児童虐待やいじめなどの予防、解決策を充実させる	67.8%	2,676
他人への思いやりの心をはぐくむ	37.8%	1,494
子どものための相談や支援体制を充実させる	24.2%	956
子どもに対する犯罪の取り締まりを強化する	18.3%	721
親(保護者)や先生などまわりのおとなが、子どもの権利をよく理解する	31.5%	1,243
子どもの権利についていろいろな場所で広報する	9.1%	360
進路や将来のことなどで子どもの意思を大切に	29.3%	1,155
特にな	10.1%	399
その他 (内容:保護者・先生・地域の方たちの見守り、全部、いじめをなくす、差別・人を見た目で判断しないこと、日々の日常に目を向けて基本的な権利に目を向ける、もう権利は守られていると思う など)	0.6%	25
		9,029



Q36.新潟市が、子どもの権利を守り豊かな子ども期を過ごすことができるまちとなるために、どのような取り組みを行えばよいと思いますか。あなたのアイデアがあれば、自由に書いてください。(自由意見)

回答(抜粋)
大人がしっかりと子供の行動などをよく見ればよいと思いました。
地域ごとに相談センターを仮設し、誰でも気軽に最近あった嬉しいことや嫌だったことを聞いてくれるセンターがあるといいと思います。又、数ヶ月に一回程度で詳しくアンケートをとると良いと思います。(今よりもっと詳しく)
子どもがどんなことをしているか観察して、理解することが大人のすることだと思う。
定期的にこのようなアンケートをとり、一人一人の気持ちを良い方に切り替えていけるようにしてほしいです。
ラインでの無料相談があってそれで親にバレないと若い人たちも気軽に相談できると思う
だけどもAみためにすべて肯定だとチャットGPTで事足りるからちょうどいいくらいがいい
チラシを配って、より多くの人に知ってもらい、タブレットやスマホでも、相談が出来る場所を作る
子供が考えていることを言葉で伝え、大人に知ってもらい。子供の悩みとその回答を広く広報する。
みんなにありがとうってしてもらおう習慣を作った方がいいと思う
理由は、みんながみんなにありがとうという気持ちでみんなの思いやりが深まるんじゃないかと思ったからです
子供だけの交流会やイベントを作る
一年に一回ぐらい、学校の先生や、親などではない、話を聞いてくれる人との会話の機会をつくれればいいのではないかなと思います。
子供が何歳でも楽しめる充実した遊び場が必要だと思います。例えば、閉校した学校を改装して遊べる場所を作ったりすることによって、閉校した学校を壊す費用がいらなくなるからです。
過去の経験、いじめ(トラウマ等)によって不登校になったり、鬱などの精神疾患に見舞われた際に再発防止策を徹底する、改善に向けて取り組むなどの取り組みがあれば良い
地域のイベントを実施し、子供達と関係を深めると良いと思います。
電話などができない子供もいると思うから直接相談が受けれる場所をもっと作った方がいいと思う
若者だけではなく、すべての年代の人が相談できる仕組みを作り、学校や職場で定期的に悩みを相談できる機会を作る。(すべての年代が悩みを打ち明ければ、虐待など大人が関わるトラブルが減り、子どもに寄り添える大人が増えると思ったから。→子供の権利を守り豊かな子ども期を過ごせる)
誰もが嫌なことをされずに、お互い気持ちよく生活できたり差別や無視されないための取り組みをこれからもしていくといいと思います。

回答(抜粋)
周りの大人たちがもっと子供に関心を持ち、子供の素直な気持ちなどを尊重する。
大人が見てくれないところ、あるいは見てはいけないところでいじめなどのトラブルは起きるから、もっと隅々まで見てほしい。なぜなら、大人の気づかないところで、傷ついて苦しい子もいるから。
みんなが好きなことをするなど自分の時間を大切に知ることが大切だと考えました。
みんなが安心してとても良い暮らしができるよう頑張ることが大切だと思います。
親と子供が、子供の時にもっと遊べるような時間を作るために、給料を上げるとか、休みを多くするとかすると、親と子供が、もっと楽しい時間を過ごせると思いました。
一人一人が思いやりの心を持って、いじめや虐待をなくすこと。
多くの子どもが幸せになれるように、少しでも楽しめる活動やイベントを取り組み、人に相談しやすい環境を作ったり関わる機会を多く作る取り組みを行うと良いと思う
電話で相談できる場所がたくさんあるとしても、自分の悩みを打ち明けるには勇気がいると思うから、気軽に相談できたり、大人の方から話す機会がたくさんあると、話しやすいと思う。それから、絶対に相談しても誰にも言われないという安心ができるようにしてくれるとありがたいと思う。
子供達に相談できる人が周りにたくさんいることを知ってもらい、一人で抱え込まないように、まわりの大人が助けられる町。
人権などの大切さを広めるためのイベントなどを開き、子供があらためて愛されるような大人用の授業を開く
子どもの権利を広く住民に告知し、今一度考えさせる。子どもにはなぜ権利が保障されるのかをわかかってもらう
住民一人一人が子供の権利をしっかりと理解してもらえるように広めること
相談窓口などで、遠慮しないで相談してねという雰囲気を作って、広める
まずは周りの人が子どもの権利についてしっかりと理解を深めることが大切だと思います。
新潟市子ども条例をもっと広めて、子どもも大人も誰もが理解すること
こころのレスキュー隊みたいなものをもっと運営する。
まだ、子供の相談窓口が近づき難いものになっているので、誰もが気軽に相談できるような相談窓口にすればいいと思う。
窓口に行った事が知られにくい様になったり、共感しすぎず、ゆつくり聞き出して子供同士が悩みをはなせるところがあってもいい
子供の人間関係の大変さなどを知ってほしい
子供たちがお互いに嫌な思いをしたり、大人から嫌なことを言われたりした時に、楽に話せて、子供の話を遮らず、否定をしない相談相手がいると私は落ち着きます。

令和7年度おとな向けアンケートの結果について

令和7年度は、昨年度に引き続き、子どもの権利週間（5月）、子どもの権利月間（11月）、新潟市子ども条例フォーラムをはじめ、様々な機会を捉えて、権利の主体であることもののほか、幅広い市民をターゲットとした子ども条例及び子どもの権利相談室に係る周知を行ってきました。

これらの取組の効果測定として、以下のとおり子ども条例に係る認知状況等について、おとなを対象としたWEBアンケートを実施しました。

1 実施方法

インターネットを使用した専用フォームによるアンケート回答

- ①Instagramへの掲載及びSNS広報
- ②市公式LINE・子育て応援アプリでの案内
- ③市ホームページ「新潟市子ども条例」ページへの掲載
- ④市報にいがたへの掲載

2 アンケート結果

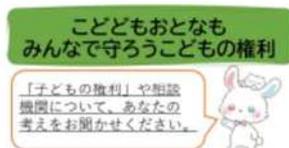
実施期間：令和8年1月13日～2月15日

回答数：456件

■子育て応援アプリ配信画面(抜粋)

アンケートにご協力ください

2026年1月13日(水) 12時00分 | この画面



新潟市ではすべてのこどもが豊かになつて成長を遂げることができるようまちを創製して「新潟市子ども条例」の発効に取り組んでいます。
子どもの権利に関するあなたの考えをお聞かせください。
回答数は累計で100名に到達するとアンケートが終了します。

<回答締切>

令和8年2月15日(日)

<回答対象>

子どもの権利に対する考えや相談機関に関することごと12問(5分程度)

[このアンケート結果はこちら](#)

[お問い合わせ先はこちら](#)

[お問い合わせ先はこちら](#)

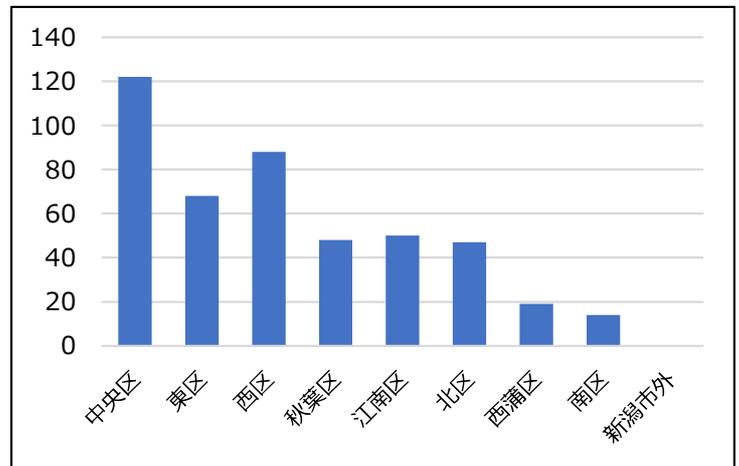
令和7年度新潟市子ども条例 おとな向けアンケート（WEB回答）集計

回答期間：令和8年1月13日～2月15日

回答数：456件

Q1.あなたのお住まいの地域を教えてください。

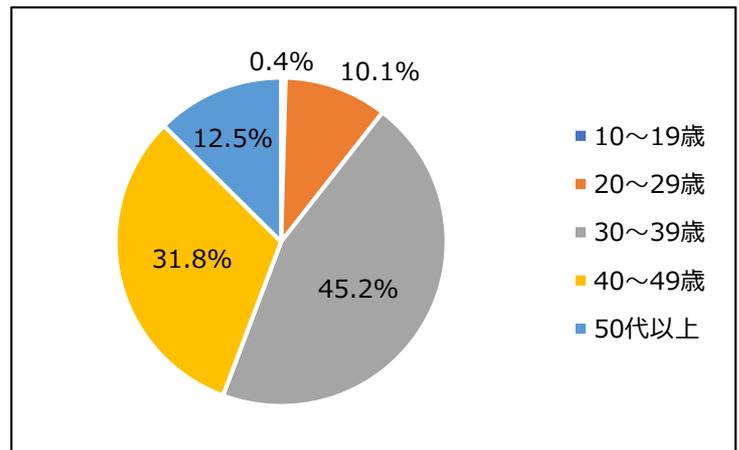
地域	回答数（人）	割合
中央区	122	26.8%
東区	68	14.9%
西区	88	19.3%
秋葉区	48	10.5%
江南区	50	11.0%
北区	47	10.3%
西蒲区	19	4.2%
南区	14	3.1%
新潟市外	0	0.0%
合計	456	



N=456

Q2.あなたの年代を教えてください。

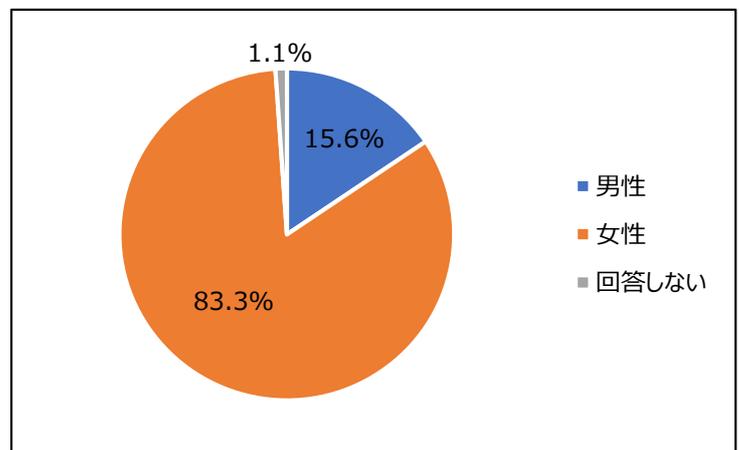
年代	回答数（人）	割合
10～19歳	2	0.4%
20～29歳	46	10.1%
30～39歳	206	45.2%
40～49歳	145	31.8%
50代以上	57	12.5%
合計	456	



N=456

Q3.あなたの性別を教えてください。

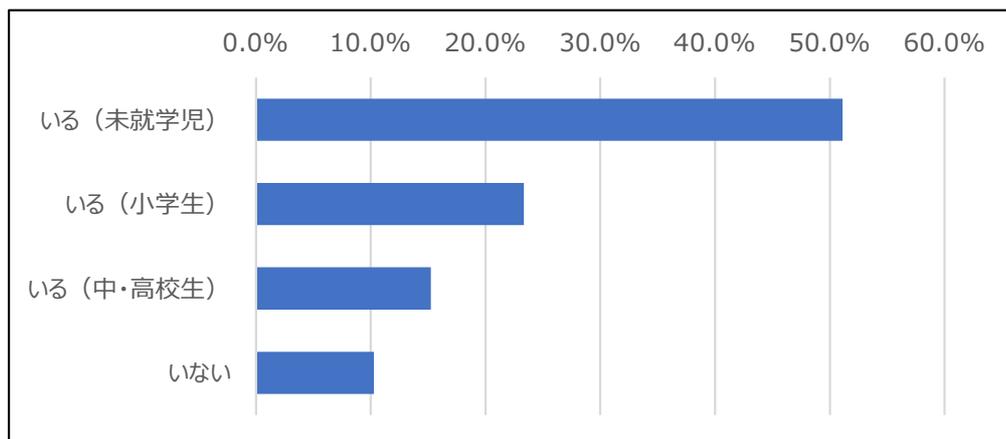
性別	回答数（人）	割合
男性	71	15.6%
女性	380	83.3%
回答しない	5	1.1%
合計	456	



N=456

Q4.あなたのご家族にお子さん（18歳未満）はいますか。
 お子さんが複数いる場合は、該当するものをすべて選択してください。【複数回答可】

性別	回答数（人）	割合
いる（未就学児）	278	51.1%
いる（小学生）	127	23.3%
いる（中・高校生）	83	15.3%
いない	56	10.3%
合計	544	

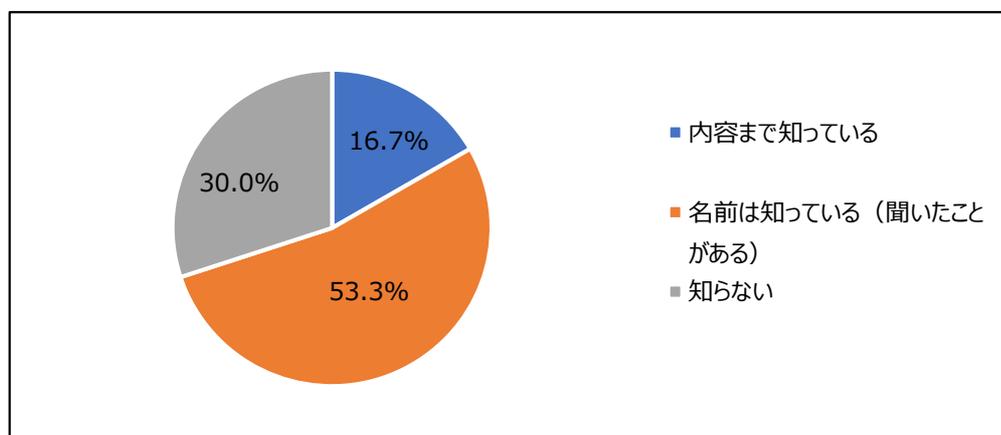


N=456

⇒ 未就学児の保護者から多く回答いただいています

Q5.あなたは「新潟市子ども条例」を知っていますか。

	回答数（人）	割合
内容まで知っている	76	16.7%
名前は知っている（聞いたことがある）	243	53.3%
知らない	137	30.0%
合計	456	

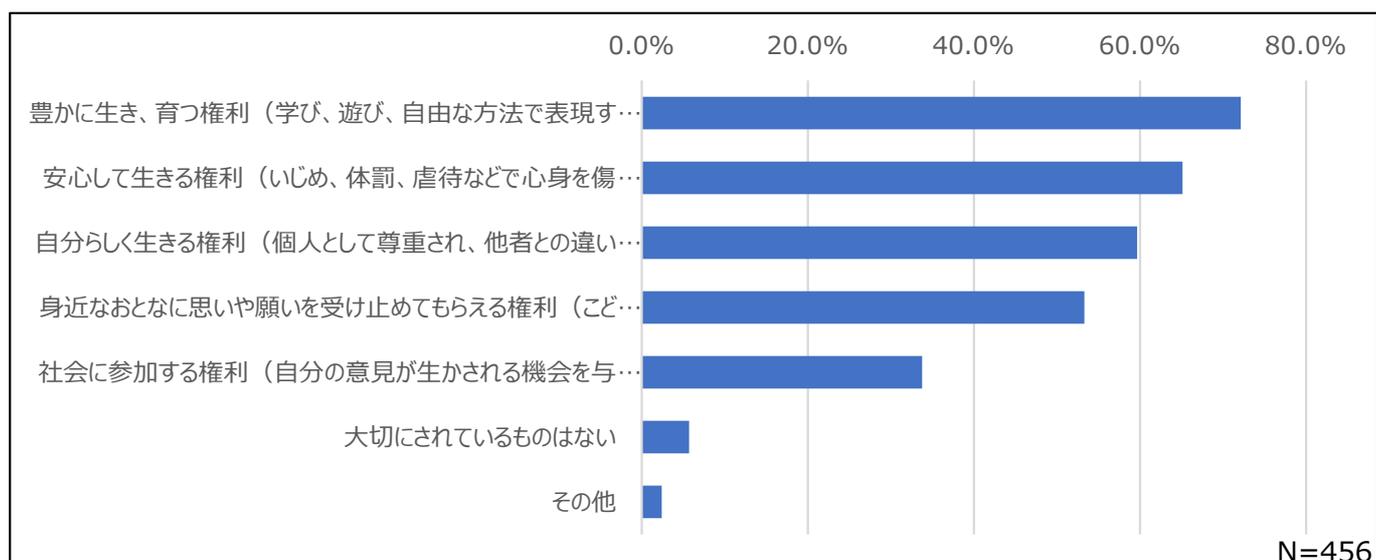


N=456

⇒ 「内容まで知っている」または「名前は知っている（聞いたことがある）」と回答した人の割合は70%となった。昨年度の調査よりも上昇している。

Q6.あなたのお子さんや周りのお子さんについて、日々の生活のなかで以下の子どもの権利は大切にされていると思いますか。大切にされていると思う権利をいくつでも選択してください。【複数回答可】

	回答数 (人)	割合
豊かに生き、育つ権利（学び、遊び、自由な方法で表現する など）	329	72.1%
安心して生きる権利（いじめ、体罰、虐待などで心身を傷つけられない など）	297	65.1%
自分らしく生きる権利（個人として尊重され、他者との違いが認められる など）	272	59.6%
身近なおとなに思いや願いを受け止めてもらえる権利（こどもの思いや願いを自由に表明できるなど）	243	53.3%
社会に参加する権利（自分の意見が活かされる機会を与えられる など）	154	33.8%
大切にされているものはない	26	5.7%
その他	11	2.4%
合計	1332	



⇒ 昨年度に比べて「安心して生きる権利」の割合が上昇しています。昨年度のアンケート結果同様に、5つの権利のなかでも「社会に参加する権利」が「大切にされている」と回答した人が相対的に少ない結果になっています。

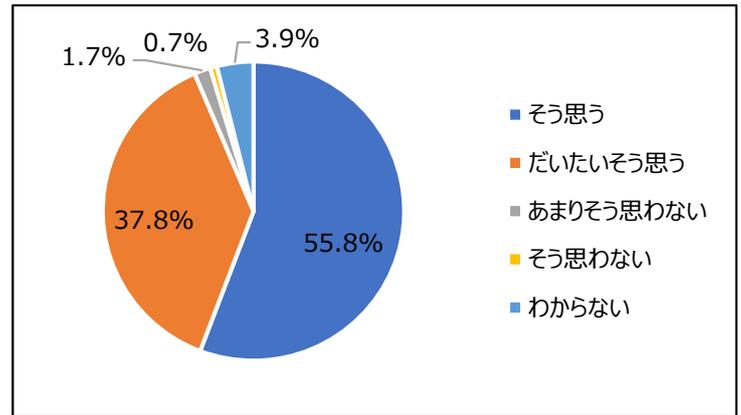
【その他回答】

- 健康に生きる権利（いつでも530円で受診できる）
- 格差があると思う。恵まれている環境にいれば権利も守られるが、そうでないと守られていない場合がある
- 大切にされているんであろうけど、それがダイレクトに各個人に伝わらないから色々な問題が起こるのかなと思うし、家庭や周りの環境が1番大きいと思う。
- 自分の子については概ね大切にされていると認識しているが、周りの子供がわからない。学校等の公的な場では意識も芽生えているかもしれないが、各家庭はブラックボックスでとても心配。その意味でも子どもにとって一番身近な学校・園が、助けを求められる先になってほしい。
- 大切にされているのかわからない
- 学校でも外でも、まだ子供の意見や願い、主張などが中々尊重されているとは思えない！大人や教育者などが、もっと子供と同じ目線で一緒に考え、見ていく事が理想です！やはり正直、昔の古い考えのやり方の主張が抜けてない様に感じます。
- 保育園にも通っておらず、親と子の関わりしかないためよくわからない
- わからない 3
- 現在こども園に在籍していますが、こども個人を尊重していると思えません。自分たちのルールや型に当てはまらないと、それが悪いことのように受け止められてしまいます。どうか匿名希望で、こちらの意見を園へ届けてください。

Q7.ご家族にお子さんがいる方に伺います。あなたはお子さんが不安な様子などをしていたら、声を掛けたり話を聞いたりしていると思いますか。

	回答数 (人)	割合
そう思う	227	55.8%
だいたいそう思う	154	37.8%
あまりそう思わない	7	1.7%
そう思わない	3	0.7%
わからない	16	3.9%
合計	407	

N=407

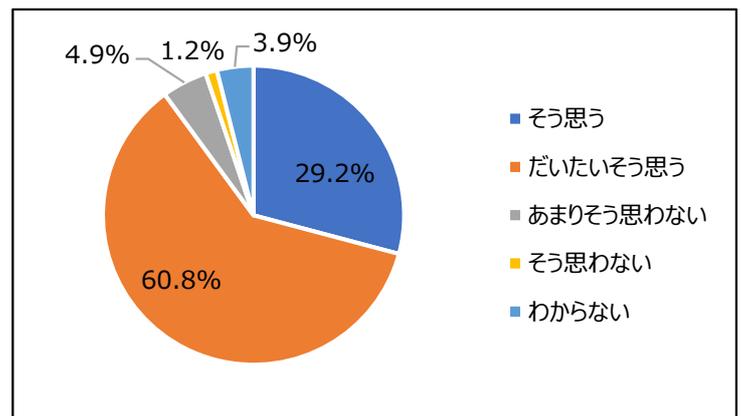


⇒ 昨年同様に約94%の方は、こどもの考えや意見を尊重しています。

Q8.ご家族にお子さんがいる方に伺います。あなたはお子さんの考えや意見を理解し、尊重していると思いますか。

	回答数 (人)	割合
そう思う	119	29.2%
だいたいそう思う	248	60.8%
あまりそう思わない	20	4.9%
そう思わない	5	1.2%
わからない	16	3.9%
合計	408	

N=408

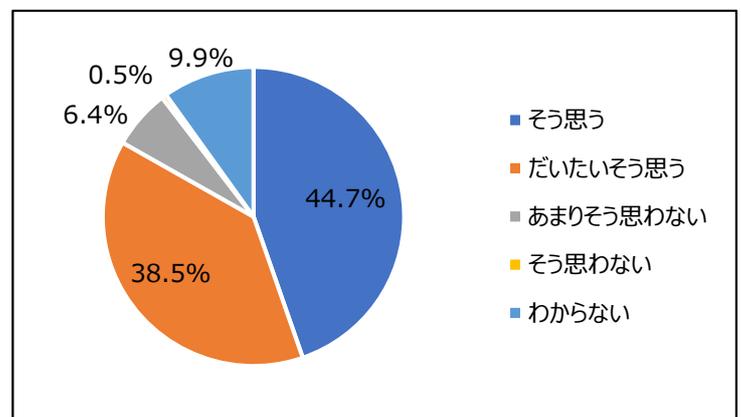


⇒ 昨年同様に約90%の方は、こどもの考えや意見を尊重しています。「あまりそう思わない」、「そう思わない」と回答した割合も増加しています。

Q9.ご家族にお子さんがいる方に伺います。お子さんは「自分のことが好き」と考えていると思いますか。

	回答数 (人)	割合
そう思う	181	44.7%
だいたいそう思う	156	38.5%
あまりそう思わない	26	6.4%
そう思わない	2	0.5%
わからない	40	9.9%
合計	405	

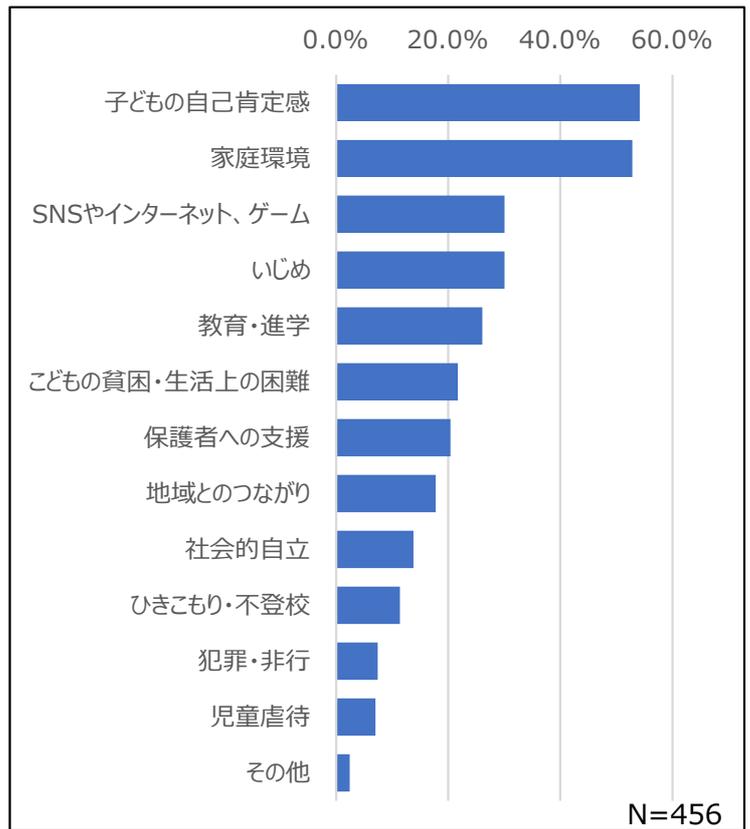
N=405



⇒ こどもは「自分のことが好き」と考えていると思うかという問いに、約83%が「そう思う」「だいたいそう思う」と回答しており、昨年度より増加しています。「あまりそう思わない」と解答した割合も増加しています。

Q10.あなたが子どもを取り巻く課題として重要だと思うものは何ですか。
以下の選択肢から最大3つまで選択してください。【3つまで選択】

	回答数 (人)	割合
子どもの自己肯定感	247	54.2%
家庭環境	241	52.9%
SNSやインターネット、ゲーム	137	30.0%
いじめ	137	30.0%
教育・進学	119	26.1%
こどもの貧困・生活上の困難	99	21.7%
保護者への支援	93	20.4%
地域とのつながり	81	17.8%
社会的自立	63	13.8%
ひきこもり・不登校	52	11.4%
犯罪・非行	34	7.5%
児童虐待	32	7.0%
その他	11	2.4%
合計	1346	



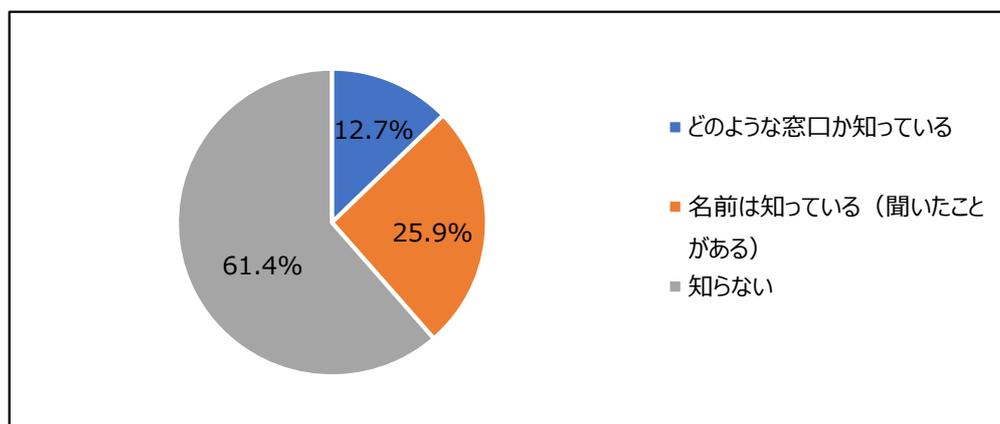
⇒ 「子どもの自己肯定感」、「家庭環境」を選択した割合が50%を超えたほか、「SNSやインターネット、ゲーム」、「いじめ」を選択した割合も昨年度より増加している。

【その他回答】

- ・ 「教育」を選択しましたが、最近、教員不足解消のため、大学での必要単位数を減らす方針であるという事に不安を感じます。教員のレベルを下がるのではなく、もっと待遇改善や、奨学金返済免除など取り組んで欲しいです。
- ・ 放課後等デイサービスなどの充実さ。
- ・ 安心して学校で過ごせること。（通常級でも、配慮が行われること。）大学進学までの学費の保障。
- ・ 障がい児のため、その後の発達
- ・ 上記全て。その他、行政や子ども達を取り巻く機関の取り組み方や職員の意識
- ・ 身近に公園が少なく、遊び場がない
- ・ まずは周りの大人が個人を尊重され、他者との違いに寛容である社会
- ・ 年少扶養控除の早期復活、社会保険料の減額や減税によって保護者の手取りを増やすこと
- ・ 障害をもつ子どもの居場所作り
- ・ こどもの居場所（1つではなく複数でこどもたちが選べる）
- ・ 実子誘拐、親子断絶の取り締まり

Q11.新潟市では、子どもの権利が守られていないときなどに、子どもや子どもに関わるおとなが悩みを相談できる窓口として「新潟市子どもの権利相談室 ころのレスキュー隊」を令和6年8月に開設しました。あなたは「新潟市子どもの権利相談室 ころのレスキュー隊」を知っていましたか？

	回答数（人）	割合
どのような窓口か知っている	58	12.7%
名前は知っている（聞いたことがある）	118	25.9%
知らない	280	61.4%
合計	456	

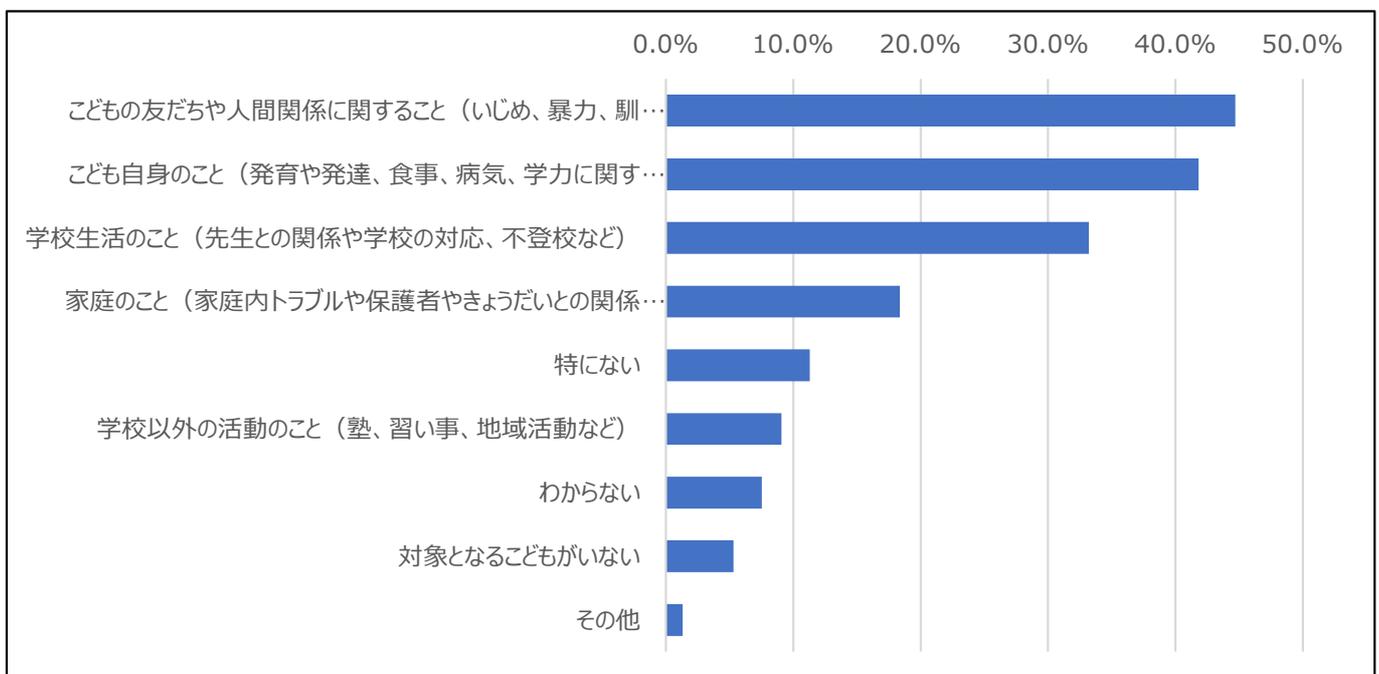


N=456

⇒ 開設から1年以上経過し、38.6%の方が子どもの権利相談室を「どのような窓口か知っている」、「名前は知っている（聞いたことがある）」と回答し、昨年度よりも割合が増加しています。しかし、未だ多くの方が相談室を認知していないことから、今後もおとなに対しても幅広く周知していく必要があります。

Q12.「新潟市子どもの権利相談室 こころのレスキュー隊」に相談するとしたら、どのようなことを相談したいと思いますか。【複数回答可】

	回答数 (人)	割合
こどもの友だちや人間関係に関すること（いじめ、暴力、馴染めないなど）	202	44.7%
こども自身のこと（発育や発達、食事、病気、学力に関する事など）	189	41.8%
学校生活のこと（先生との関係や学校の対応、不登校など）	150	33.2%
家庭のこと（家庭内トラブルや保護者やきょうだいとの関係性など）	83	18.4%
特にない	51	11.3%
学校以外の活動のこと（塾、習い事、地域活動など）	41	9.1%
わからない	34	7.5%
対象となるこどもがいない	24	5.3%
その他	6	1.3%
合計	780	



⇒ 相談内容として、「こどもの友だちや人間関係に関すること」、「こども自身のこと」を選択する割合が高くなっています。

【その他回答】

- ・ いま思いつく相談事はないけれど、そういう窓口があるというだけで、安心感がある
- ・ 活用できる制度
- ・ そもそも何ができる組織なのか分からないため、判断できない。
- ・ そもそも、こころのレスキュー隊と言うものを知らない。
- ・ 上記全て。その他、子ども達に対して大人達が思うこと(どんなことでも)。
- ・ 相談したところで、電話口の人が問題が解決してくれるわけでは無いので意味が無いと思う。

N=452